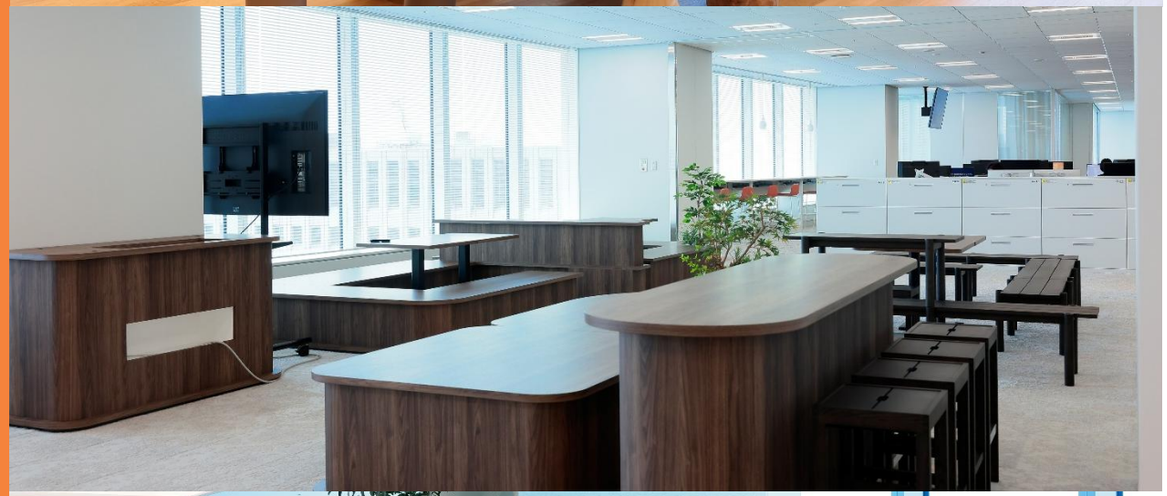
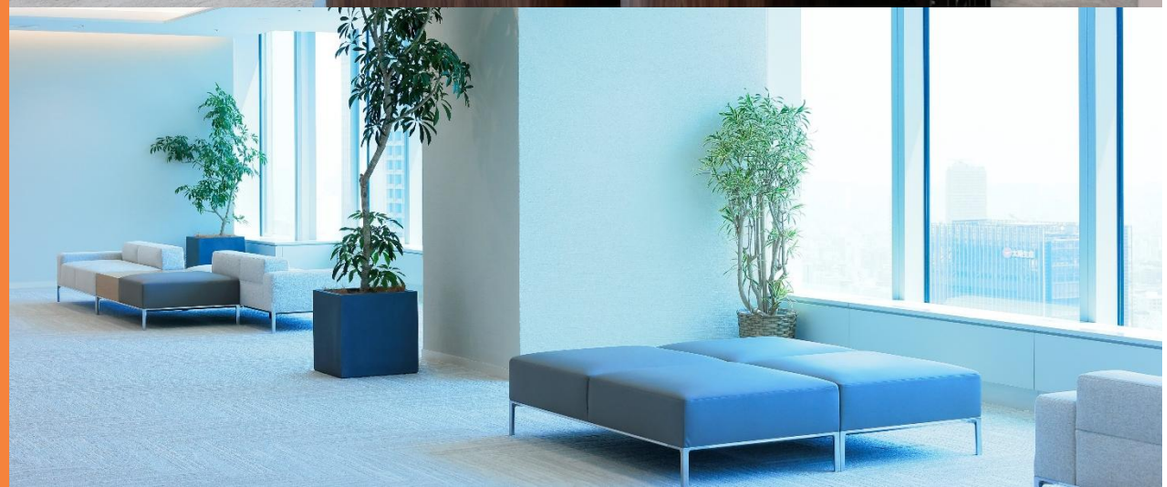






MARUBENI
ITOCHU
STEEL

鉄を商う。未来を担う。

Powering the future with steel

MISI 健康白書

健康経営宣言

鉄鋼総合商社である当社の最も重要な財産は、人材（社員）です。
社員一人ひとりが最大限のパフォーマンスを発揮するためには、健康の維持・増進が重要となります。
当社の企業理念（Vision）である「私たち一人ひとりの成長が、会社の成長と重なり合い、かかわるすべての人とともに、より豊かな社会を実現する」を達成するため、以下健康経営推進方針のもと、社員がいきいきと活躍できる職場づくりを推進することを宣言します。

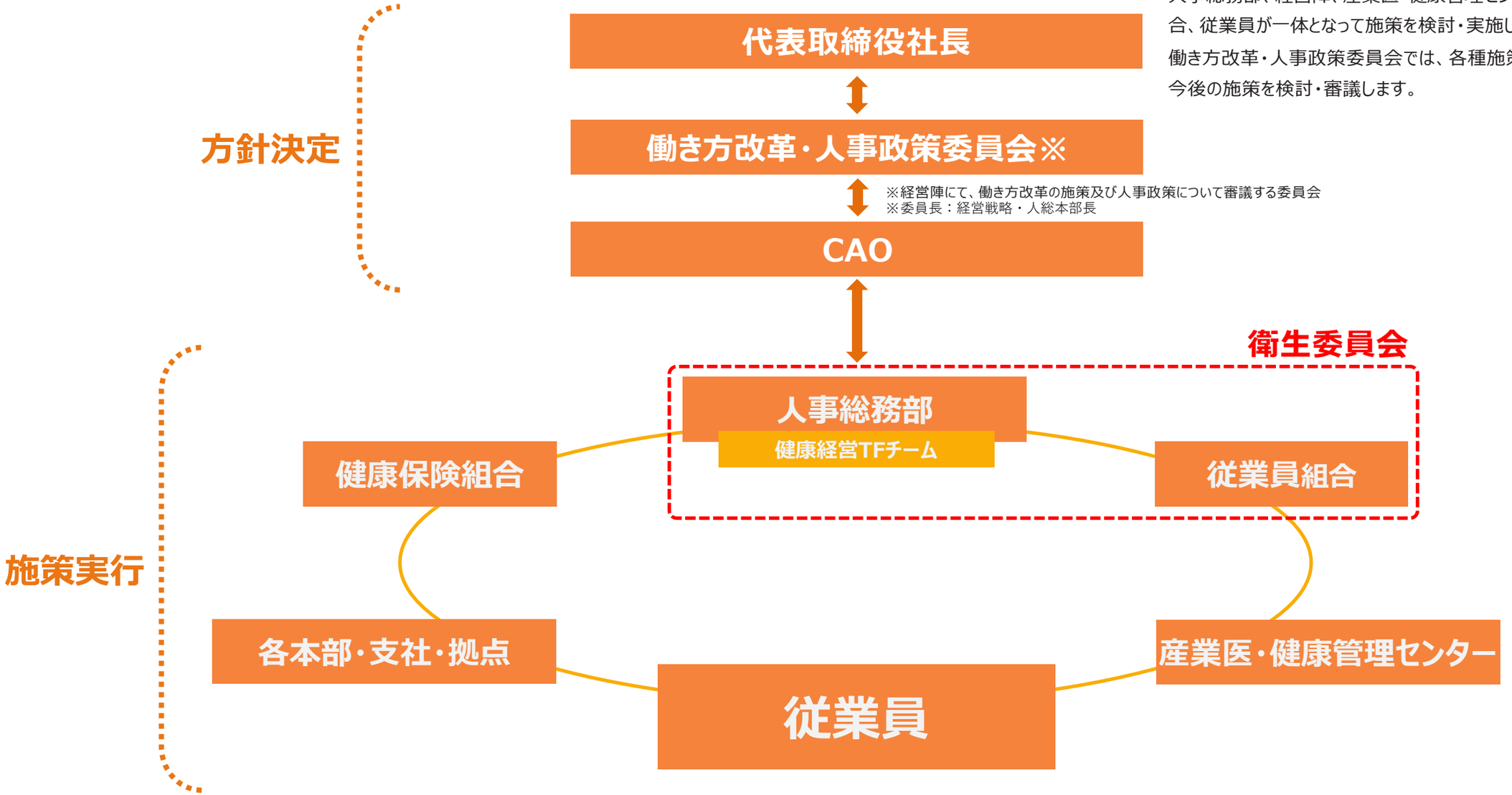
健康経営推進方針

社員の健康が、会社の永続的成長に寄与すると考え、会社と社員が一体となり、
社員の健康維持・増進へ積極的に取り組む。

代表取締役社長　石谷　誠

健康経営推進体制

人事総務部、経営陣、産業医・健康管理センター、健康保険組合、従業員が一体となって施策を検討・実施します。
働き方改革・人事政策委員会では、各種施策のレビューと方針、今後の施策を検討・審議します。



健康相談対応の体制

社内相談窓口

健康管理センター
特定保健指導を含む
健康面談等、社員との
日々の接点を通してサポート

メンタル専門医
メンタルヘルスに精通した
精神科医が従業員をサポート

産業医
定期健診の事後措置や
面接指導の実施

健康レポートの配信

ラインケア・
セルフケア等
研修の実施

社外相談窓口

EAP
プライベートも含めて
社外カウンセラーに相談
できる外部サービス

医療相談サービス
海外勤務時に24時間365日
医師に相談可能

メンタルヘルスに
関連する
e-learning の配信

海外駐在員への
現地医療情報の提供

健康経営戦略マップ（作成年：2025年10月）

健康投資

- 社内/ グループ会社に対する研修
- 健康に関するセミナー、イベントの実施
- 健康的な食事の機会提供
- 日々の歩数に応じたインセンティブ付与
- 費用補助
  - 禁煙アプリ
  - 婦人科検診
  - 脳ドック
  - インフルエンザ・風疹予防接種
  - 二次検査（精密検査・再検査）
- 健康診断の項目追加 / 人間ドック
- がん克服支援保険制度
- ストレスチェックの実施
- メンタル相談体制の構築

健康投資効果

健康投資施策の取り組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
各種施策の参加率向上	・例年同様、健康診断受診率100%を達成する。 ・再検査・精密検査(産業医勧奨分)を必ず受診する。 ・特定保健指導対象になった場合、指導を必ず受ける ・生活習慣病に繋がる体重/腹囲/血圧/血糖/脂質の数値を前年度比維持/改善する ・常に心身が健康な状態で業務に取り組むことが出来るよう適度な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な飲酒、禁煙に取り組む	プレゼンティーイズム・アブセンティーイズムの改善 ワーク・エンゲイジメントの向上
接種率・検診率・受診率の向上		
ストレスチェック実施率の向上	高エンゲージメント者の増加、高ストレス者/要注意者の減少	

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制、環境	サポート、組織的支援（POS）、WSC等
健康経営の推進方針・目標に対する認知率の向上	健康経営優良法人（大規模法人部門）ホワイト500の認定	職業性ストレス簡易調査票の「上司の支援/同僚の支援」の得点向上

目標年：2030年

KGI	健康経営の目標	健康経営の推進方針	経営方針
エンゲージメントサーベイにおけるトータルエンゲージメントスコアの向上	社員のWell-beingを実現し、一人ひとりの生産性を向上させる	社員の健康が、会社の永続的成長に寄与すると考え、会社と社員が一体となり、社員の健康維持・増進へ積極的に取り組む	私たち一人ひとりの成長が、会社の成長と重なり合い、かかわるすべての人とともに、より豊かな社会を実現する

従業員の健康課題

喫煙習慣・飲酒習慣の常態化、睡眠時間不足、運動不足による
骨密度・筋力の低下、高血圧、高血糖、高脂、女性特有の健康課題

推進計画・KPI

健康経営の目標を達成するためには、社員一人ひとりが健康状態を正しく認知し、PDCAサイクルを回すことが重要であると考え、具体的施策(＝健康投資)の実施、各種KPI(＝健康投資効果)の継続したレビューを通じてPDCAサイクルを回しながら、健康経営への取り組みを推進していきます。

KPI	目標値
健康診断受診率	100 %
再検査・精密検査受診率	100 %
特定保健指導実施率	100 %
健康促進イベント参加率	前年比向上
高ストレス者率	前年比改善
血圧・血糖・脂質有所見率	前年比向上
健康意識行動率（※）	前年比向上
プレゼンティーズム・アブセンティーズムの改善	前年比改善
ワークエンゲージメントの向上	前年比向上





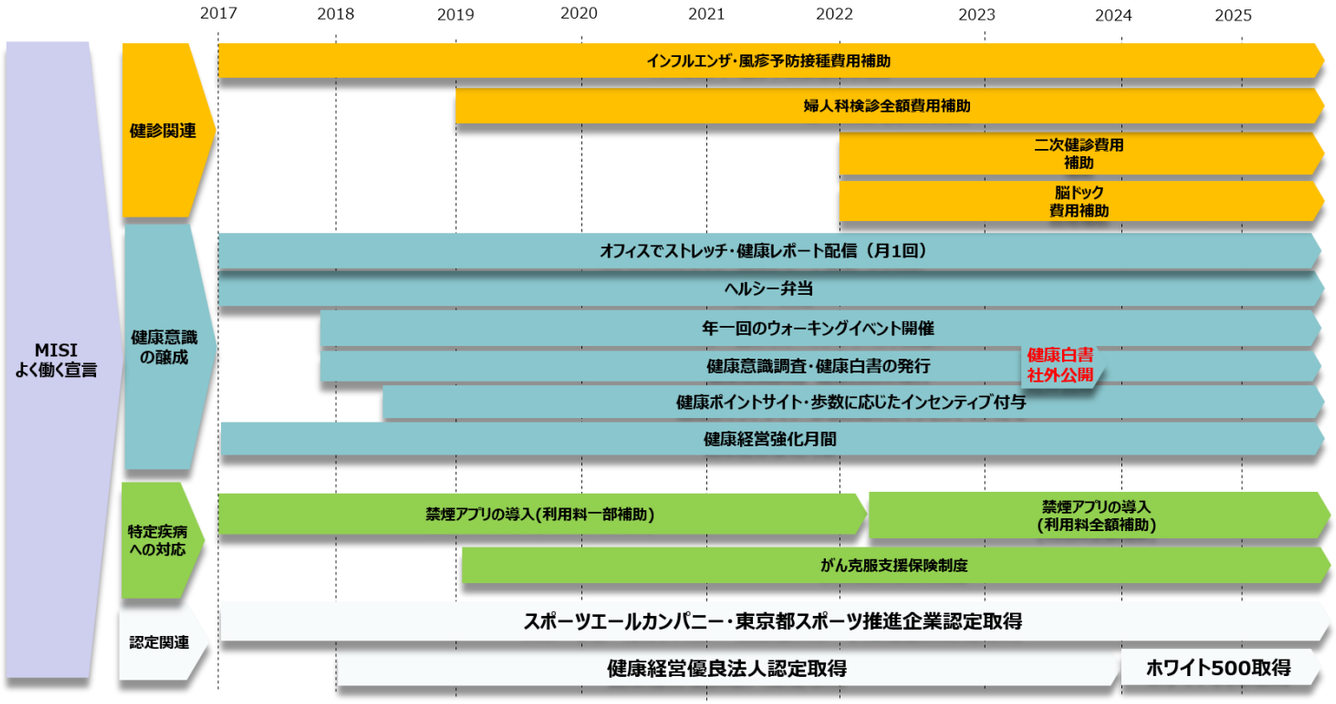
※年1回の健康意識調査において計測している、自分のからだや健康のために何らかの取り組みを実施している社員の割合。

当社健康経営の変遷・社外からの顕彰

当社健康経営の変遷

当社の健康経営は2017年の「MISIよく働く宣言」からスタートしました。
健康経営への取り組みを開始して以来、各種健診補助、健康意識の醸成、特定疾病への対応等、社員の健康に資する施策を広く検討し、導入しています。

”健康白書”は、健康経営の取り組みを紹介するために社内向けに公開していたものを2023年より社外にも公開しています。



社外からの顕彰

当社の健康経営に対する地道な取り組みが評価され、
「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」では、
2025年度に引き続き、2年連続での「ホワイト500」への認定となりました。

「スポーツエールカンパニー」および「東京都スポーツ推進企業」は2017年の初回申請以降、毎年認定を取得しています。

2026 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

SPORTS YELL COMPANY 2026

東京都スポーツ推進大使 ゆりーと
TOKYO
東京都スポーツ推進企業
2025認定

主な取り組みの紹介(健康意識調査の実施)

社員の健康状態の見える化を図るために、年に1回”健康意識調査”を実施しています。
最新の調査結果の一部をご紹介します。

取り組みたい健康活動

第1位 運動 78.7 %

第2位 食事 78.1 %

第3位 睡眠 61.1 %

食事、運動、睡眠が
ここ数年健康活動の TOP3 を維持。
次点のストレスマネジメントは 31.6% 。

worst 1 / worst 2



目の疲れ 89.2%



肩こり 79.0%

目の疲れ、肩こりが2TOPを維持。
日中の眠気も76.5%。
→改善策を検討します！

過去4週間の仕事のパフォーマンス

77.6点

実施企業平均：74.2点

パフォーマンス得点とは…
心身の不調による損失がない場合のパフォーマンスを100点とした計測した過去4週間の業務パフォーマンスに関する自己評価。
※前年度(2024年度)得点：77.5点

主な取り組みの紹介(ウォーキングイベント)

施策背景・概要

第一回健康意識調査（2018年度実施）にて「あまり歩くことができていない」と回答した社員が約66%いたことから、翌2019年度より毎年11月の1か月間、全社を挙げてウォーキングイベントを開催。

チーム戦(5 ～ 15人／チーム)と個人戦で平均歩数の順位をアプリ上に表示して競うコンペ形式。上位チームと一日の平均歩数8,000歩以上を達成した対象者に記念品を贈呈。



2025年結果

676名が参加

1 日平均歩数は

10,891歩

総合計歩数は

2億2,087万8,875歩



総合計歩数はなんと

地球を約4周分!

実施後の効果

- 本施策をきっかけに健康に対する意識が向上し、歩行習慣がついた結果、BMI 等各種数値が改善した実例も有。
- 直近の健康意識調査では、歩数不足を感じる社員は約55%と、2018年度から約13%減少。
- 社内コミュニケーション活性化の一助ともなっており、毎年恒例の社内イベントの一つとして定着。

主な取り組みの紹介(健康経営強化月間)

施策背景・概要

全社員を対象に健康意識に関するアンケートを実施。
アンケートから社員の健康課題を特定し、毎年セミナーを開催。



過去のセミナー開催例



食事

クイズ形式で行う食育セミナー



運動

ボディメイキング×スイング動作を組み合わせたエクササイズ



睡眠

睡眠セミナー



メンタル

メンタルヘルスセミナー



禁煙

禁煙セミナー・禁煙アプリの無償提供

結果

<参加人数>2025年度：計5回のセミナーで延べ200名参加（約40名/回）
2024年度：計4回のセミナーで延べ186名参加（約47名/回）
2023年度：計5回のセミナーで延べ318名参加（約64名/回）

主な取り組み紹介（オフィスでストレッチ）



施策背景・概要

毎月第2火曜日の午後に専門トレーナーを招き、オフィスの各エリアで約10分間のストレッチを実施。
月ごとの季節に合わせたテーマを設定し、長時間のデスクワークによる首・肩・腰のこりや姿勢の改善、血流促進、疲労の解消等を目的とした習慣づくりを促進。
東京本社勤務者だけでなく、在宅勤務者、国内支社勤務者、海外勤務者も参加できるよう、オンラインでも開催している。

実施後の効果

アンケートでは「開催回数を増やしてほしい」という声が多く、リフレッシュ効果に加えて、ペアで行うストレッチ等を通じて、社内コミュニケーションの促進にもつながっている。



主な取り組み紹介（二次検査費用の会社補助）

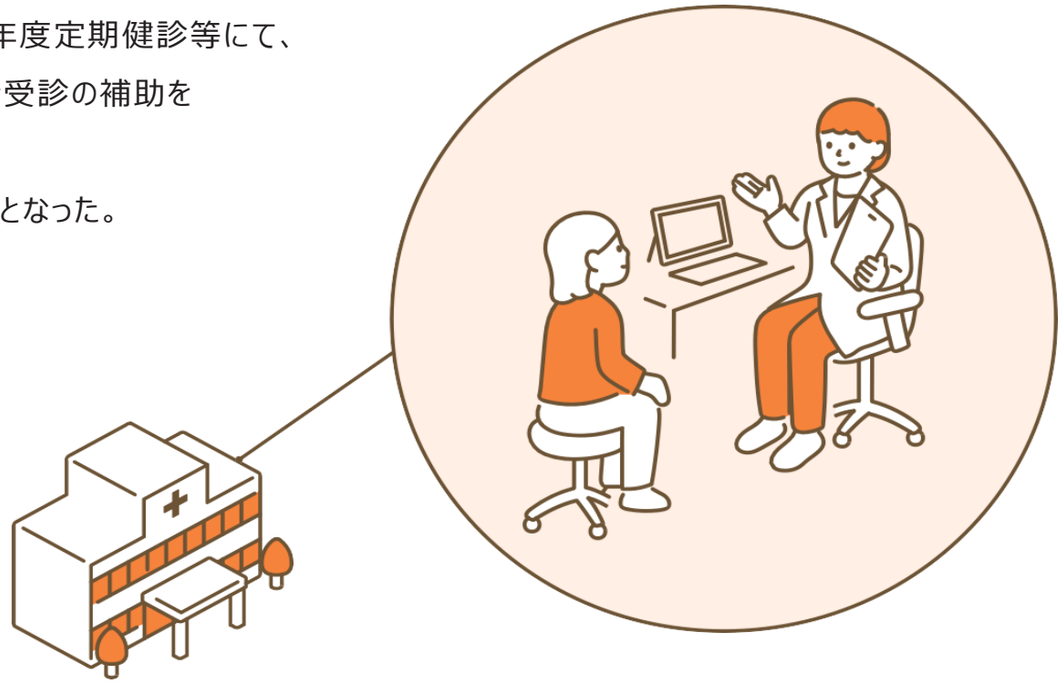
施策背景・概要

二次検査については、定期的に受診勧奨を行っていたものの、2021年度時点の
受診率は54.3%に留まっていた。
社員の病気の早期発見や悪化の早期予防を図る観点から、2022年度定期健診等にて、
二次検査に該当する「要精密検査」、「要治療」と判定された社員への検査受診の補助を
トライアルで実施。
その結果、受診率が82.6%と大きく改善されたため、本導入することとなった。



補助内容・施策

① 保健師による検査受診フォロー
② 再検査費用の補助
③ 勤務時間内の検査実施



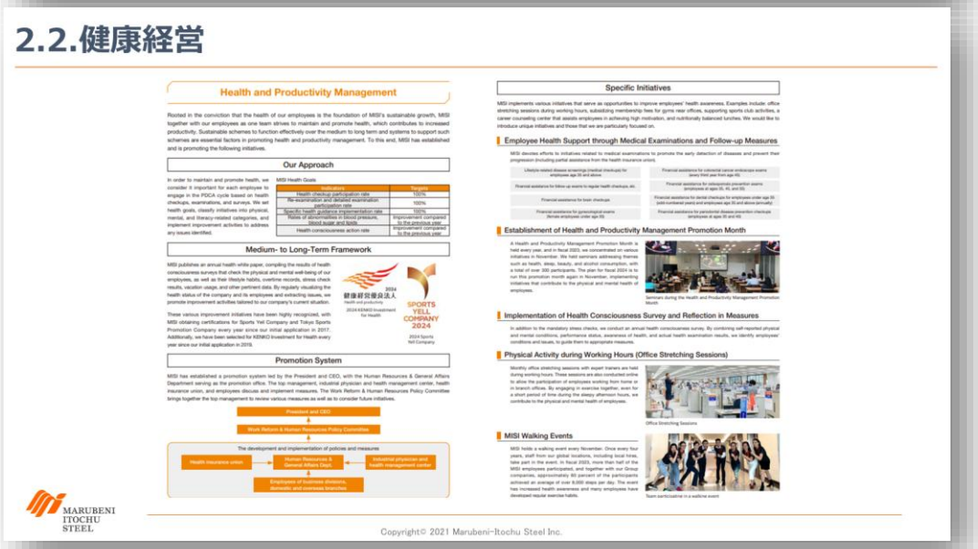
施策導入結果

2025年度は対象者の **76.9%** が受診。

補助額：**503,395円**

主な取り組み紹介（取引先、他社への支援）





概要

サプライチェーン全体の健康維持・増進を目的に、取引先や同業他社へ
当社の健康経営の取り組みや運営ノウハウ、過去実施した際の課題点等を
レクチャー。

具体例

今年度は海外の鉄鋼流通会社へ、組織文化改善事例として、魅力的な労働環境や心と体の健康を重視する観点から当社の健康経営の取り組みを説明。健康促進のために2019年から実施しているウォーキングイベントについてもレクチャーし、全世界規模でのイベント開催や参加率向上のための施策等のノウハウを提供。



健康経営に関する定量データ

項目	2024年度	2025年度
健康診断受診率	100.0%	→ 100.0%
二次検査（再検査・精密検査）受診率	62.3%	↗ 76.9%
特定保健指導	71.9%	↗ 76.5%
有所見率（血圧）	17.8%	↘ 16.7%
有所見率（脂質）	49.8%	↗ 51.9%
有所見率（血糖）	25.1%	↘ 24.5%
喫煙率	21.0%	↘ 17.8%
健康意識行動率	75.0%	↗ 76.8%
ストレスチェック受検率（%）	92.2%	↗ 97.9%
高ストレス者比率（%）	9.0%	↘ 7.2%
体調不良による休暇が3日以上の社員の割合(アブセンティーズム※1)	28.2%	↘ 26.4%
直近1ヵ月の健康の自己評価点(プレゼンティーズム※2)	77.5点	↗ 77.6点
ワークエンゲージメント※3	88.7%	↗ 89.3%
平均勤続年数	13.0年	↗ 14.6年
年次有給休暇取得率(総取得日数/ 総付与日数)	57.8%	↗ 60.7%
時間外勤務時間	28.0時間/月	↗ 28.0時間/月
労働災害申請件数	2件	→ 2件
婦人科検診受診率(子宮頸がん・乳がん)	93.0%	↗ 94.4%

※1　体調不良による有給休暇の取得日数が 3日以上の社員の割合（測定人数653名、回答率62.2%）
※2　SPQ（Single-Item Presenteeism Question東大1項目版）の「病気や怪我がない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください」への回答結果の平均値（測定人数653名、回答率62.2%）
※3　ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問に対する肯定回答率（測定人数約900名、回答率97.9%）